広報　ぼし

キラキラ☆たまみず

平成30年9月20日　発行［玉水まちづくり協議会］
第57号

発行責任者：会　長　小　立　記　正
連絡先：☎・Fax（079）506－3163

７月から８月にかけて、真夏日どころか猛暑日が毎日のように続きましたが、お元気で乗り越えていただけましたでしょうか。

「暑さ寒さも彼岸まで」の言葉の通り、この広報が皆様方のお手元にお届けできます頃には、過ごしやすい秋の季節が訪れていることでしょう。

8/2(木)・3(金)の２日間、**夏休み広場**で、城北畑小学校の子どもたちが、［夏休みの宿題と星空観察］を体験しました。

友達同士で教え合いながら、学習しています。

初日の８月２日（木）は、プリントやドリルなどの夏休みの宿題と習字に取り組みました。漢字や計算問題などの思い思いの学習を進める子どもたちは、とても熱心に取り組んでいました。

分からないところがあると、鳳鳴高校生やＰＴＡの方々に積極的に質問する姿があり、うれしく思いました。

［夏休み広場とは］

小学校の夏休みに合わせ、子どもたちが玉水会館に集まり、夏休みの宿題や習字などの学習に取り組む活動です。

城北畑小学校のＰＴＡや地域の方々、鳳鳴高校の生徒の皆さんの支援を得て、運営されています。今年度は、「星空観察会」も計画されました。

とても集中して、習字に取り組んでいます。子どもたちは、いい表情をしていますね。

「夏休み広場」で希望が多いのが、習字です。

そのような子どもたちの願いに応えるべく、元小学校の先生が子ども一人ひとりの名前の入った手本を用意したり、鳳鳴高校の書道部の皆さんが子どもたちの前で実際に書いたりと、それぞれの立場で愛情を持って教えていただきました。

［１年生や２年生も筆を持ち、習字に挑戦しました。］

高学年の子どもたちは、さすがに上手です。先生に、「短時間で上手に書けるようになったね。」とほめてもらい、うれしそうにしていました。

［8/3(金) 星空観察会］

篠山天文同好会の方々を講師に迎え、城北畑小学校の運動場で「星空観察」を行いました。その夜は、［金星・木星・土星・火星］の４つの惑星が、１時間余りの間に全て見られるというとても貴重な観察会となりました。

このような大きな望遠鏡で、たくさんの星を観察することができました。天文同好会の方々に、感謝です。

子どもたちは、設置していただいた望遠鏡を代わる代わるにのぞきこみ、「見えた、見えた。」とか、「オレンジ色がとてもきれい。」などと声をあげていました。また、大人の皆さんも、「土星の輪がくっきり見えるね。」とか、「木星ってあんなに大きいのか。」と自然に感想がもれていました。

惑星の観察の合間をぬって、夏の大三角や星座、天の川などの説明を聞きました。

最後に、夏の夜空は寒くないので「流れ星」を見る良い機会だと教えていただきました。寝ころべる場所で空を見上げ、流れ星を見つけて『星に願い』をするのもいいかも知れませんね。

冬（１月頃）にも、星空観察会を計画したいと考えています。大変寒いですが、星がきらめいて見えますのでご期待下さい。

[8/4(土)キラキラ城北納涼まつり]

魚（アマゴ）つかみに夢中の子どもたち。

今年度は、淡水魚をつかみ取りして、それを串に刺し、炭火で焼いて食べました。

最初は戸惑ったような様子の子どもたちでしたが、プールに魚が放されると、歓声をあげて追いかける姿がありました。

魚の内臓を取り、串を刺しました。

取った魚に串を刺し、炭火で焼きました。内臓や血を見ていた子どもたちは食べられるかなと心配していましたが、おかわりを求める子もいて、とてもおいしくいただきました。

串に刺した魚を子どもたちが次々に持ってくるので、焼くのも大変です。太陽の暑さと炭の熱さにふうふう言いながら、焼いてもらいました。「おいしい。」との子どもたちの声に、疲れも吹き飛びました。

昼食は、焼きそばをいただきました。夏の暑さと鉄板の熱さで作る人は汗だくでしたが、おかげで、子どもたちだけでなく大人の方々もおなかが一杯になりました。

四十人余りの焼きそばを作るのは大変でした。お疲れ様でした。

手作りアイスクリームに挑戦

牛乳や生クリーム、砂糖、卵などをボールに入れて混ぜ、そこへ砕いたドライアイスを投入。そして、混ぜると、あら不思議。おいしいアイスクリームができ上がりました。

冷たくておいしいアイスクリームに、感激しました。

「綿菓子」も、飛び入りで参加していただき、子どもも大人もおいしくいただきました。

6/24(日) 篠山市消防団
ポンプ操法大会行われる

ポンプ操法大会というのは、消防団員として身につけておかなければならない「基本的な動作」を、分団ごとに競(きそ)い合うものです。

大会では、実際に水を出して正確さや速さなどについて採点が行われます。

ユニトピアささやまの駐車場を会場に、篠山市の全ての分団が参加して行われました。城北地区は、「９分団４部（新荘、東沢田、野間）」が代表として出場しました。

［団員に見守られての操作に、緊張が走ります。］

［選手を紹介します。］
指　揮　宮脇　淳
１番員　澤本　満
２番員　倉垣周行
３番員　白川正和
補　助　田中弘毅

５月に入ると、練習が始まりました。平日の夜間や週末の早朝に時間を確保して、練習しました。回数を重ねるごとに、正確に速くできるようになりました。大会では、その成果が発揮できたのですが、結果は・・・。

大規模災害が頻繁(ひんぱん)に起こる昨今では、消防団の役割はますます大きくなっています。今後のご活躍を願っています。

8/18(土) 城北地区 防火講習会

篠山市消防本部の西村　直晃様を講師に迎え、火災予防やＡＥＤの使い方、心肺蘇生法などについて学びました。

「家庭用の火災警報器」を設置すると、火災予報の意識が高まるそうです。

玉水会館を使われる自治会やサークル関係者の方々を対象に、「防火講習会」が行われました。

最初に、住宅火災で亡くなる人の７割は高齢者の方で、その発生は深夜に多いこと。寝たばこが、その原因の最多であることを聞きました。予防として、「火災警報器」を寝室につけるのが良く、電池切れにも気をつけてと学びました。

次に、ＡＥＤの使い方や心肺蘇生法について、実際のやり方を示しながら教えていただきました。

最初の５分間がとても大切です。ためらわずにＡＥＤを使ったり、心臓マッサージをすることが命を救うことになるので、ぜひ身につけておきたいと思いました。

続いて、消火器の使い方や煙体験に臨(のぞ)みました。

消火器をぜひ、家庭に用意しておきたいこと。煙の特性（上方にあがりやすく、横に広がるのには時間がかかる。）を知り、火災に出合ったら体を低くして逃げるといいそうです。